

特集 1. 緑のカーテンを過大評価する心

第 1 回 緑のカーテン—その利用実態**

平成 21 年 3 月 20 日

□ 注目の温暖化対策

地球温暖化、CO₂ 削減対策のひとつとして、近年「緑のカーテン†」に対して熱い注目が注がれています。緑のカーテンは、導入が手軽なわりに、多くのメリットが得られると考えられているのです。

- 1. 室温や体感温度の上昇を抑える
- 2. 環境教育効果、収穫が楽しめる
- 3. 植物によるヒーリング効果



図 1 緑のカーテン

出典：松戸市のホームページ

□ 公平な情報が伝わっているか

確かに、緑のカーテンには上記のようなメリットがあります。しかし、現在ではむしろこうしたメリットが不自然に強調されている感もあるのです。

実は利用者は緑のカーテンに対して少なからずデメリット（図 2 赤部）を感じているのです。

さらに「エアコンの設定温度を上げた」、「エアコンの使用頻度が少なくなった」という申告も、思いのほか多くないのです。

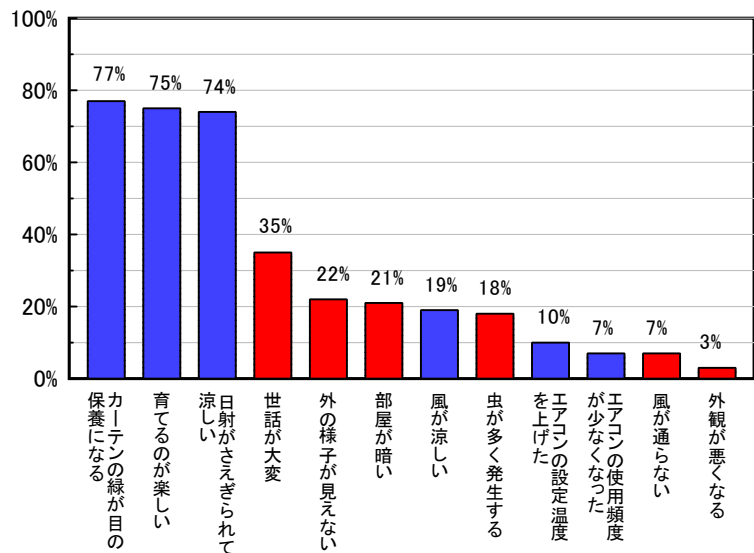


図 2 緑のカーテン利用者の声 文献¹⁾より作成

** 初めて記事をご覧になる方は、必ず「[利用規約](#)」をご確認ください

† 図 1 のように窓面にツル性植物をはわせ日射を遮る工夫。

□ 過大評価の傾向

こうした実情にもかかわらず、書籍であれインターネットであれ、我々が手にできるのは、緑のカーテンについての良い情報、効用の情報ばかりなのです。要するに、緑のカーテンは、期待が大きいせいもあってか、効果がやや過大評価されている感があるのです。

□ 仮説確認バイアス

ではどうして、緑のカーテンに対する情報がこんなにも偏ってしまっているのでしょうか。これについては、**仮説確認バイアス**と呼ばれるヒトの思考特性が強く影響していると考えられます。

ヒトには考えや仮説を支持する情報を選び好んだり、仮説と反する事例を過小評価する傾向があるのです。これを仮説確認バイアスというのです（詳しくは [次回](#)）。

□ 最良の暑熱対策か

もちろん、こうした情報の偏りには、これ以外の理由があるのかもしれませんが。しかし、いずれにしても、今では「天然のクーラー」、「天然のエアコン」などと銘打って、緑のカーテンの効果を持ち上げる風潮があるのです。

では、我々はこうした過大評価を鵜呑みにして良いのでしょうか。堅実な暑熱対策は緑のカーテン以外にないのでしょうか。このことについて、[次回](#)以降、具体的に検討していきたいと思えます。

[次回 緑のカーテン-その効果の実態へ](#)

*記事の感想をお聞かせください

[アンケート画面へ](#)

参考文献

- (1) 大毛佑太郎, 工藤重康, 名取秀人, 松前祐介, 横内里加, 山崎公輔: “千葉市における緑のカーテンの普及”, ISFJ2008 第3回研究方向性報告書 (2008).